A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）出演希望調書(実演芸術・メディア芸術　共通)

分野、種目（該当する分野、種目を選択してください。）

分野	演劇	種目	演劇

申請区分（申請する区分を選択してください。）

申請区分	A区分

複数申請の状況（該当するものを選択してください。）　※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当するものを選択してください。）
※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	げきだんぜんしんざ 一般社団法人劇団前進座		団体ウェブサイトURL http://www.zenshinza.com
代表者職・氏名	代表理事　寺田克己		
制作団体所在地	〒 180-0003	最寄り駅（バス停）	吉祥寺
	東京都武蔵野市吉祥寺南町二丁目4-3劇団前進座ビル303		
電話番号	0422-49-2633		
ふりがな 公演団体名	げきだんぜんしんざ 一般社団法人劇団前進座		団体ウェブサイトURL http://www.zenshinza.com
代表者職・氏名	代表理事　寺田克己		
公演団体所在地	〒 180-0003	最寄り駅（バス停）	吉祥寺
	東京都武蔵野市吉祥寺南町二丁目4-3劇団前進座ビル303		
制作団体　設立年月	2017年6月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事　寺田克己 副理事長　中嶋宏幸 副理事長　楠脇厚子	演技部員＝36名、文芸演出部員＝5名、 制作・事務職員＝11名、映放宣伝部員＝1名 計53名 加入条件　特になし	
事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	森田賢
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	武本明日香
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	seisakubu@zenshinza.com		

制作団体沿革	昭和6年、河原崎長十郎、中村翫右衛門、河原崎国太郎ら若い歌舞伎俳優によって劇団創立。「仮名手本忠臣蔵」を通し上演、「元禄忠臣蔵」連続上演などで注目を浴びる。映画「人情紙風船」などユニット出演、昭和12年武蔵野市に稽古場と住宅を併せ持つ研究所を建設。戦後すぐに行った“青少年劇場公演”に対し朝日文化賞を受賞、昭和28年名古屋歌舞伎座出演を契機に大阪歌舞伎座、名古屋御園座。京都南座、明治座、新橋演舞場等、大都市商業劇場での自主公演を続ける。昭和43年に株式会社となる。昭和45年「遠山の金さん」（中村梅之助）を皮切りにNHK大河ドラマ「花神」等テレビ出演も活発となる。昭和52年より国立劇場にて、歌舞伎を中心に伝統演劇を自主上演。昭和57年、劇団50周年を記念し、前進座劇場を竣工。平成29年6月、分社化。興行部門として一般社団法人劇団前進座を設立登記した。令和3年に創立90周年を迎えた。		
学校等における公演実績	2005年に初演、小学校・中学校・高校の演劇鑑賞教室やおやこ劇場例会公演として上演。 平成27～30年度の文化芸術による子供育成事業―巡回公演事業に採択され、体育館公演を重ねてきた。 一般公演・都市公演を含めると通算489ステージとなる。		
特別支援学校等における公演実績	特に記載事項はありません。		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=tXo1MIIvKiE	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

公演・ワークショップの内容　　【公演団体名　一般社団法人劇団前進座　】

対象	小学生(低学年)	○
	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○
	中学生	○

企画名	出前芝居『くず～い 屑屋でござい』－古典落語「井戸の茶碗」より－
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	(一)お芝居の前に『江戸のくらしってどんななの？』 ●本番の前に『江戸のくらしってどんななの？』と題して、江戸の長屋の風物と暮らしぶり、そして屑屋さんの仕事を通して、江戸が当時、世界でも最高峰のエコロジーな都市であり、SDGsの目指すべきターゲットにも指定されている循環型社会をほぼ完ぺきな形で形成していたことを学ぶびます。 (二)『くず～い　屑屋でござい』 古典落語「井戸の茶碗」より ●この作品は、独自の歌舞伎劇の創造を90年以上追求してきた前進座による、古典落語「井戸の茶碗」より創作した、オリジナルのお芝居です。「江戸の長屋」が舞台で、正直者の屑屋さんが巻き込まれる奇想天外なストーリーは、まさに落語ならではの世界です。正直者に馬鹿がつきそうな、ちょっと融通の利かない善人たちの意地の張り合いの織りなす江戸庶民の人情が、観る人たちの心に本当の幸せとは何かを呼び起こします。 台本・演出　鈴木幹二 装置　高木康夫 照明　遠藤正義 音楽　杵屋邦寿 公演時間　105　分
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否：該当なし 該当コンテンツ名： 該当事項がある場合： 権利者名： 許諾確認状況：
演目概要	●あらすじ あるところに、正直者の屑屋さんがおりました。ある日、その屑屋さんが、裏長屋で武家女房の千代と娘のしづから古ぼけた仏像を買いました。“くず～い屑屋でござい”と商いをしておりますと、細川の若侍高木左太夫の目に留まり、仏像がすぐに売れてしまいます。ところが左太夫が仏像をきれいにしようと洗っておりますと、なんと仏像の中から出てきたものは… さて、これは大変と大家さんと加わり上を下への大騒動―
演目選択理由	本演目は、(一)前篇の解説と(二)本編のお芝居との二本立てで、全体として「江戸へのいざない」です。とは言っても“江戸学”をひもとこうというのではなく、①江戸の人と街が、どんなにエコロジーで循環型社会であったかということと②江戸の人々の、貧しくても潔癖に生きる姿を、生徒たちと一緒に学びたいと考えています。そして、会館ホールとは違った体育館での狭いステージの上で、画然と離れている庶民の住む長屋と、武家屋敷とを上手、下手に配し、その間の屑屋さんの行う移動の飛躍の描き方は演劇のみの伝えられる表現で、子どもたちの想像力を刺激するでしょう。
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	コロナ禍でなかなか大きな声を発することもできなかった子どもたちに、演劇の基本である、セリフのやり取りによって人と人との関係を描く様を鑑賞していただきたいと思います。コミュニケーションの第一は言葉によるやり取りです。それは単に音量の問題ではなく、心の動きを的確に写した明瞭な言葉を発することが重要です。生徒の参加としては、ワークショップで学んだ江戸の行商人＝「あさり・しじみ売り」「甘酒売り」「金魚売り」として代表3人の生徒に、『江戸のくらしってどんななの？』に登場していただき、大家さんとのセリフのやり取りをしていただきます。また、本編の『くず～い屑屋でごい』では、客席から全員に行商人の売り声を発していただきます。
出演者	屑屋さん　早瀬栄之丞 大家さん　松涛喜八郎 武家女房千代　横澤寛美 高木佐太夫　新村宗二郎 千代娘しづ　皆川夏冴

本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者:　5　名 スタッフ:　7　名 合　計:　12　名	運搬	積載量:　2　t 車　長:　4.29　m 台　数:　1　台

本公演 会場設営の所要時間 （タイムスケジュール） の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00～13:00	13:30～15:15	10分	15:30～16:45	17時00分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。					

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。（大幅な変更は認められません）	6月	7月	8月	9月	10月
					18日
	11月	12月	1月	計	28日
			10日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	代表3名と客席から全員参加
		鑑賞人数目安	300名

公演に係るビジュアルイメージ
（舞台の規模や演出がわかる写真）

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

・舞台の設置場所はステージです。
・舞台に必要な広さ　横9m以上、奥行5m以上
・電源容量　100V　50A　または　100A
・暗幕が必要ですが、無い場合はご相談下さい。
・緞帳は必要ありません。定式幕を仮設します。ギャラリーの有無が幕が設置できるかを左右します。
・トラックの横付けができると助かります。
・バスケットゴールは昇降式であるのならば仕込みに問題はありません。
・ピアノがステージ上にある場合は移動をお願いします。

※ホール公演と体育館公演を実施している演目ですが、体育館仕込の写真がありません。
事務局に事前確認済みですので、ホール公演の写真を添付いたします。

『江戸のくらしってどんななの？』では、
定式幕前で生の三味線の音も聞いていただきます。
舞台上手に長屋の一室。下手に武家屋敷。
主人公の屑屋さんが行ったり来たりする様をご覧いただく工夫がされています。

A区分・C区分共通

No.3(実演芸術)

【公演団体名　一般社団法人劇団前進座　】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	100名
ワークショップ 実施形態及び内容	授業時間の3時間目～4時間目または、5～6時間目に体育館で実施。 開始1時間30分前に学校到着。30分前に会場入り。終了後、移動。 ①生徒全員で、日常の会話と演劇的発声の違いを体験・学習していただきます。 その発声の方法で、本編の劇中で出て来る3人の物売りの声、(例)「ア、サリ～、シジミ」等を、生徒全員で発声してみます。 ②江戸庶民の生活文化に触れていただくために、着物・浴衣を着た時の立居、振舞いを体験してもらいます。 和服の特徴、良さを知ってもらい、日本独自の衣のスタイルを見直してもらいたいと思います。 ③歌舞伎の手法を使って芝居が進行するため、歌舞伎の基礎訓練を紹介し、体験していただきます。 ④歌舞伎の効果音や音楽について体験を交えながら紹介いたします。		
ワークショップの ねらい	本編は、「歌舞伎劇」とは銘打ってはいませんが、歌舞伎の世話物の名作『芝浜の革財布』『文七元結』『唐茄子屋』の系譜に連なる古典落語から取った前進座オリジナルの世話狂言です。 したがって、児童・青少年演劇では、稀有な本格的にかつらを載せ和服を着た世界、そして生の三味線による下座音楽を配した、日本の伝統演劇の良さ、おもしろさを味わっていただく作品となっています。 事前のワークショップにおいては、日本の伝統演劇「歌舞伎仕立て」で創作された作品に親しみを持っていただくために、現代人、ましてや今日のこどもたちがほとんど体験することの無くなった和服の着方、着こなし、立居振舞いの体験や、江戸時代の庶民の生活、歌舞伎独特の表現方法、歌舞伎の音楽、効果音について学習していただきます。		
その他ワークショップに 関する特記事項等			

本事業への申請理由　【公演団体名　一般社団法人劇団前進座　】

本事業に対する取り組み姿勢、および効果的かつ円滑に実施するための工夫	①本事業に対する取り組み姿勢 国民の芸術鑑賞機会は減少傾向にあり、「劇場」に足を運ぶ観客の平均年齢は高齢化するばかりです。そこには、子どもの文化鑑賞機会が乏しいという背景があります。時間の確保だけでなく、金銭的な問題も含み、芸術鑑賞会が実施されないということは、文化鑑賞機会の無いまま大人になるということです。また、地域格差も著しいのが事情です。 前進座は、「歌舞伎」が基礎にある劇団です。日本の伝統文化の鑑賞機会を提供することができます。伝統文化は敷居が高いものではなく、私たちの祖先の知恵と工夫が詰まった文化であり、私たちの身近にあるものだと捉えていただきたいと願っています。 また、文化芸術鑑賞の感動体験は、どんなに言葉を尽くしても、同じ空間と時間を共有していなければ理解し合えないものです。子どもたちは、学校教育の一環として、芸術鑑賞という非日常の世界を体感し共有することで、日常生活においても自分の感情に向き合い自己肯定感を向上し、他者を認め、違う感じ方や考え方に出会い相互理解を深めていきます。 本作は、前篇の大家と屑屋さんによる解説『江戸のくらし』と、本編の芝居『くず～い屑屋でございい』の2本立ての構想になっています。 前篇では、江戸のくらしを覗き見することによって、“質素なくらし”と“リサイクルな社会”すなわち、日本が世界に誇る、“もったいない”の精神を現代の子どもたちの心にも甦らせたいと思います。 本編は、「歌舞伎劇」とは銘打ってはいませんが、歌舞伎の世話物の名作『芝浜の革財布』『文七元結』『唐茄子屋』の系譜に連なる古典落語から取った前進座オリジナルの世話狂言です。 歌舞伎は江戸時代の庶民の娯楽でしたが、地芝居や各地の歌舞伎小屋がなくなり、生の歌舞伎やお芝居に子どもたちがに触れる機会が少なくなりました。 グローバル化が一層注目される時代、足もとの日本の伝統文化への造詣を深めることがますます求められてきます。 文化芸術による子供の育成総合事業を通して、学校単位でより多くの子どもたちが日本の伝統的な演劇に出会うことで、日本文化への興味関心を高めていただきたいと思います。 そして、古典落語「井戸の茶碗」は、若侍と仏像の前の持ち主が、仏像の中から出てきたお金を「自分の金ではない」と美しく譲り合い、間に入った屑屋さんが右往左往する様が実に面白い落語です。相手を尊重できる生き方、豊かに生きる江戸庶民の姿を、生きることが難しくなっている子どもたちに届けたいと思います。 また、体育館が芝居小屋に変身する稀有な非日常を是非子どもたちに体験していただきたいと思います。 ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 ＊事業の流れをご理解いただくために、実施校との確認を行います。(提出書類の確認) ＊実施に当たり、必要事項を取りまとめた連絡文書を送るとともに、劇団の制作者が、担当の先生と打合せをいたします。